

ふじさんネットワーク

設立25周年記念シンポジウム

美しい富士山を未来の子どもたちへ

令和6年10月13日実施 富士市・ロゼシアター中ホール

ふじさんネットワークは設立から25周年を迎えました。日本が世界に誇る富士山を大切に、貴重な動植物や自然環境を保全して、持続可能なものとするために多くの人が多岐にわたり尽力してきました。そして、ふじさんネットワークはこれらの取組の二翼を担っています。これからどのように富士山を守り、次世代へ繋いでいくか。富士宮市在住の俳優・歌手の工藤夕貴さんによる富士山に対する想いが詰まった基調講演や、県内で長年御活躍されている、タレントの久保ひとみさん、増澤会長との鼎談を通して、今後のふじさんネットワークの活動のあり方について考えました。



天気にも恵まれた初秋の午後、約200名の皆様にお集まりいただきました。

増澤武弘会長の 開会挨拶

シンポジウムに先立ち増澤会長はふじさんネットワークの設立当時の状況について振り返りました。「25年前は、富士山での調査・研究がほぼピークであった頃です。当時は富士山に関する調査・研究及び保護・保全を行う団体が約100団体もありました。富士山というひとつの対象に100以上の団体が関わるのは非常に珍しく、

驚きました。」と語りました。各団体がバラバラに活動するよりもひとつにまとまれば、もっと広く活動できるのではと感じていたところ、同じ思いを持つ方々によりふじさんネットワークが設立され、富士山に関する様々な情報支援や、活動の助け合いを通じて活動の効果を高めていったということです。また、富士山を世界文化遺産に登録する経緯についても詳しい解説があり、イコモス(国際記念物遺跡会議)の海外の審査員から

「富士山はゴミがたくさんあり汚い。」と評価されるなど、自然環境に対する評価が低く、世界文化遺産登録までには紆余曲折があったということでした。増澤会長は「世界文化遺産登録には現場で活動する実働部隊としてネットワークが必要だった。」「現在500を超えている団体・個人の皆様の賛同を得て今のふじさんネットワークがあります。」と語り、感謝の意を込めた開会挨拶に対して、大きな拍手が起きました。



富士宮市在住で俳優/歌手の工藤夕貴さん。

工藤夕貴さんの基調講演 そこに富士山があるから 日本人の心のふるさと

工藤さんは現在富士宮市に居住されていて、富士山の麓ならではの自然風景について話されました。「夜8時過ぎに県道71号線を下っているとときにムササビを見かけました。何かの人工物か樹木なのかなあ?と思っていたらムササビでした。他にもフクロウやシカもよく遭遇します。」「また、「富士山は眼前にあります。」「また、「富士山は見えなくても毎日同じ富士山は見えない。」と感じていることを話されました。工藤さんは子どもの頃、東京都八王子市に居住していたときに、天気の良い冬場に富士山が綺麗に見える。「今日は何かいいことがあるだろうな気がした。」と当時を振り返り、子どもの頃から富士山を愛していたことが伺えました。

日本とアメリカを往復しながら俳優活動をしていた当時の話では、海外でも富士山は有名でしたが、とあるハリウッド俳優に「でも富士山ってゴミが多い山なんだよね。」と言われた際「富士山がゴミの山なんて知らなかった。」と驚いた



工藤さんが感じる富士山の魅力について多くを語っていただきました。

工藤さんが情熱を持って富士山のことを語ってくれる姿勢、また富士山に対する愛情が溢れる気持ちに、会場にいる多くの方々が頷いたり、賛同の拍手が送られました。

富士山の魅力、そして将来(鼎談)

基調講演をしていただいた工藤夕貴さん、当日司会を務めていただいた久保ひとみさん、そしてふじさんネットワーク増澤武弘会長の3人で「富士山の魅力、そして将来」をテーマに意見交換を行いました。

富士山の登山の魅力について工藤さんから「下界では見ることのできない空・星・自然環境を目の当たりにすると、人は自然に生かされていると感じ、謙虚な気持ちになります。人生のなかで達成感をなかなか感じづらいますが、登山をしていると生きていくという達成感を感じることが出来ます。」とコメントをいただきました。久保さんは「私は浜松市在住です。浜松市からも富士山は見えますが、見える富士山は小さいです。富士山の麓に来ると富士山が本当に大きく見えるので、いつも大きい富士山に感動しています！」と語り、

会場の皆様が頷いていました。増澤会長は「世界には様々な山がありますが、唯一無二の美しさを誇る日本の富士山は世界一ですね。」とお二人の意見に賛同しました。また、増澤会長は富士山はこの50年で「森林限界」が上昇したことや、富士山の永久凍土の調査測定では最近標高2800メートルで永久凍土がなくなっていたことを指摘されました。これも私たちが現在直面している地球温暖化が影響しているということです。



増澤会長がリード役となり、終始和やかな雰囲気で行ったシンポジウム。

そして将来の富士山を語るうえで欠かせないのが富士山の環境保全について。久保さんは「富士山に登るのは本当に大変でしたが、登頂の喜びや感動は今でも忘れられない思い出で、この素晴らしい富士山の自然を守って、子どもたちに富士山を好きになってもらえるように伝えていきます。」と語りました。また工藤さんからは「自然環境を保全すると同時に、観光を成り立たせることが大切です。」と環境保全と観光の両立について御指摘いただきました。これには増澤会長も「工藤さんが指摘されたように自然、観光、生活、道路、経済も全て重要です。どれひとつ欠けることないよう自然を守りながら社会を動かすことで、富士山を将来にわたり守っていく。そのために私たちふじさんネットワークの会員のみんなが共通認識を持ち行動することが重要です。」と訴え、鼎談終了の時間となりました。富士山に対する皆さんの温かい想いと、富士山に対する将来像について共有できた大変貴重なシンポジウムになりました。御参加くださった皆様、誠にありがとうございました。

(※)引用元 渡辺豊博 村串仁三郎 編著
富士山を壊すのは誰？
「富士山登山鉄道構想」が観光立国日本をダメにする



工藤夕貴氏

俳優・歌手
静岡県観光大使。1983年に芸能界入り。映画『戦争と青春』に主演。最年少でブルーリボン賞主演女優賞を受賞。数々の日本映画をはじめ、『ラッシュアワー3』『SAYURI』などのハリウッド映画へも多く出演。アメリカから帰国後は、富士宮市に移住し、俳優をする傍ら、富士山の見える農場で、自然農法を取り入れた野菜栽培や米作りに取り組みながら、カフェレストラン「カフェ・ナチュレ」を経営。



久保ひとみ氏

タレント/ラジオパーソナリティ
主に県内の情報番組やラジオ番組で活躍する。愛称は「久保ちゃん」。静岡県浜松市出身。